

## < 緩和時間や拡散係数測定データで、複数ピークの計算結果とグラフを印刷する方法 >

既に[回帰計算解析]ウィンドウで計算処理を行った緩和時間データを例に説明します。

① 💽 [Select]ボタンをクリックし、緩和時間を印刷したいピークを選択する。

💰 回帰計算解析(Curve Analysis): 20120814_stry_double_pulse-1-2.jdf		
ファイル オプション		
	【 1 Linear Inv. Recovery ♦	自動処理
очроное 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	11-11-11-11-1 2.5 2.4 2.3 2.2 RARENAS R NANNAN	
X : parts per Million : Proton	選択された複数のピーク(青色)	

(2) 6 [Print]ボタンをクリックし、[印刷オプション]ウィンドウを開く。

) & 2 0 0 1	🎭 🔶 🔶 ピック ピーク	<u> まっ</u> ド: Weighted L	inear Inv. Recovery 🝦 自動処理
	Č	shift ■	
			「印刷オプション〕ウィンドウ
	出力設定		
	🧭 位置情報 (X)		
	🔘 ×軸値リスト		
	🏹 YI-値のリスト		
	📝 フィットさせる回帰式	🏹 実データ	
	一 標準偏差 (σ)	✓ 回帰曲線	
		🗍 Fit Sum	
	データ点数		
		<ul> <li></li></ul>	
	データ / ページ: 1	「すべての結果」	
	Scale to view	= #+1/17 H	

